

研修テーマ	胴枯れ病について	参加者	埼玉支部 27名 他県支部 8名
講師	森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域微生物生態研究室 樹木医 服部 友香子氏	場所	Withyou さいたま視聴覚セミナー室
資料	「胴枯れ病について」P-point 資料	記録	三島 摩耶
目的	樹木の枯損や枝枯れに大きく関与している胴枯れ病について、その特性や生活環及び病原菌類の新たな分類体系を学習することにより、樹木の保護や病害の予防に役立て、地域の樹木や大切な樹木の健全な生育につなげる。		

■研修内容

(第1部) 生物の分類と系統の歴史、胴枯病を引き起こす菌類：病害と生活環

真核生物の系統と高次分類から始まり、胴枯病を引き起こす菌類の中で、病気として問題となる主な3目（ディアポルテ目、クロサイワイタケ目、ボトリオスフェリア目）について、日本で近年問題になっている代表的な病害の例を挙げ、感染経路、原因の推察等の解説。



講師：服部氏



講義風景



講義風景（生物の分類）

(第2部) 胴枯病を含む樹木病害の診断

診断のポイントを発病トライアングル（主因、素因、誘因）の図をもとに解説を受けた。また、診断の簡易フローチャートから診断する際のポイントや、病徴上に観察される菌類だけが病気の直接的な原因ではないという解説。



講義風景

発病のトライアングル



森林と菌類 p140 図4.1 を元に作成。

発病のトライアングル図

(第3部) 日本産ボトリオスフェリア目菌類の分類学研究

重要な病原菌であるボトリオスフェリア目は世界中で分類が整理され、多様性も明らかになっている。しかしながら日本産種のボトリオスフェリア目は最新の基準における所属、種、属が本当にそれでよいのかというところが未整理、未検討となっていた。

服部氏が博士論文を発表した研究テーマをもとに、日本産ボトリオスフェリア目の①これまでに報告されていた分類学的の再検討②分子系統関係の解明③分類に有用な表現形質の調査についての解説を受けた。しかし、日本産ボトリオスフェリア目菌類の全貌は未だに不明であり、これからもっと新しいことが判ってくるだろうということが講じられた。



講義風景

(日本産ボトリオスフェリア目菌類の分類的研究)